

単位時間単位面積当たり N 個の粒子を z 軸方向に入射する．単位時間内に散乱体からの位置 (dr, θ, φ) にある面積 dS の検出器に到達する粒子数は

$$dN \propto N \frac{dS}{r^2} = N d\Omega \quad (0.0.1)$$

を満たす．比例係数を $\sigma(\theta, \varphi)$ とする．

$$dN = \sigma(\theta, \varphi) N d\Omega \quad (0.0.2)$$

この $\sigma(\theta, \varphi)$ を**微分断面積**という．散乱が z 軸まわりに軸対称なとき， φ 依存性を取り除き $\sigma(\theta, \varphi) = \sigma(\theta)$ とできる．このとき，全断面積を式 (??) のように定義する．

$$\sigma^{\text{tot}} = \int \sigma(\theta) d\Omega = 2\pi \int_0^\pi \sigma(\theta) \sin \theta d\theta \quad (0.0.3)$$